資料1 策定の経過

【平成27年度】

日 付	内 容
平成27年 4月24日	行政改革推進リーダー全体会(第1回)開催
	公共施設等総合管理計画策定の目的及びスケジュール説明
平成27年 5月 8日	行政改革推進本部会議開催
	公共施設等総合管理計画策定の目的及びスケジュール説明
平成27年 7月31日	行政改革推進審議会開催
	公共施設等総合管理計画策定の目的及びスケジュール説明
平成27年 8月 4日	行政改革推進本部会議開催
	施設カルテ及び一覧表作成に係る個別調査について
平成27年 8月10日	行政改革推進リーダー全体会(第2回)開催
	公共施設等総合管理計画策定に係る庁内研修実施
平成27年 8月10日~	施設カルテ及び一覧表作成のための個別施設調査
9月11日	
平成27年10月~	郡上市の公共施設等の現状把握・分析及び課題抽出
平成28年 2月 9日	個別施設調査に基づく各課への聞き取り等による
平成28年 2月18日	行政改革推進リーダー全体会(第3回)開催
	個別施設調査に基づく各課への聞き取り結果報告及び再確認依頼
平成28年 3月末	公共施設等総合管理計画策定に係る現況調査完了
	施設カルテ及び報告書等の作成(平成27年度成果品)

【平成28年度】

日 付	内 容
平成28年 4月26日	行政改革推進リーダー全体会(第1回)開催
	計画策定の中間報告及び今後のスケジュール説明
平成28年 5月 9日	行政改革推進本部会議開催
	計画策定の中間報告及び今後のスケジュール説明
平成28年 6月 2日~	公共施設に関する市民アンケート実施
6月17日	
平成28年 6月10日	行政改革推進本部会議開催
	中間報告書の具体的内容について説明
平成28年 6月13日	行政改革推進リーダー全体会(第2回)開催
	基本方針及び施設類型別基本方針(素案)策定作業についての説明
平成28年 6月29日	市議会全員協議会
	計画策定の中間報告及び今後のスケジュール説明
平成28年 7月21日	行政改革推進リーダー作業部会(第1回)開催
	基本方針及び施設類型別基本方針(素案)策定作業(施設種類別)

【平成28年度】

日付	内容
平成28年 7月26日	郡上市の公共施設等に関する市民説明会開催
平成28年 7月29日	行政改革推進審議会開催
	計画策定の中間報告及び今後のスケジュール説明
平成28年 8月 5日	市民ワークショップ(北部:第1回)開催
	大和・白鳥・高鷲地域在住の市民によるワークショップ
平成28年 8月10日	市民ワークショップ(南部:第1回)開催
	八幡・美並・明宝・和良地域在住の市民によるワークショップ
平成28年 8月22日	市民ワークショップ(北部:第2回)開催
平成28年 8月24日	市民ワークショップ(南部:第2回)開催
平成28年10月 7日	市長と語ろう!ふれあい懇談会(白鳥会場)開催
平成28年10月13日	行政改革推進リーダー作業部会(第2回)開催
	基本方針及び施設類型別基本方針(素案)策定作業(地域別)
平成28年10月19日	市長と語ろう!ふれあい懇談会(八幡会場)開催
平成28年11月 4日	市長と語ろう!ふれあい懇談会(美並会場)開催
平成28年11月14日	市長と語ろう!ふれあい懇談会(和良会場)開催
平成28年11月17日	行政改革推進リーダー全体会(第3回)開催
	作業部会による基本方針及び施設類型別基本方針(素案)報告
平成28年11月17日~	基本方針及び施設類型別基本方針(素案)策定に関する庁内合意形成
平成29年 2月 6日	(アンケート結果及び市民意見等の反映)
平成28年11月22日	市長と語ろう!ふれあい懇談会(明宝会場)開催
平成28年11月25日	市長と語ろう!ふれあい懇談会(大和会場)開催
平成28年11月29日	市長と語ろう!ふれあい懇談会(高鷲会場)開催
平成29年 2月 7日	行政改革推進本部会議開催
	計画(素案)確認について
平成29年 2月16日	行政改革推進審議会開催
	郡上市公共施設等総合管理計画(案)について
平成29年 2月20日	議会全員協議会開催
	郡上市公共施設等総合管理計画(案)について
平成29年 2月20日	郡上市公共施設等総合管理計画(案)公表
平成29年 2月20日~	郡上市公共施設等総合管理計画(案)パブリックコメント実施
3月10日	
平成29年 3月10日 	議会総務常任委員会開催
	郡上市公共施設等総合管理計画(案)パブリックコメント結果報告等
平成29年 3月17日 	議会全員協議会開催
T 0 0 0 5 5 7 5	郡上市公共施設等総合管理計画(案)パブリックコメント結果報告等
平成29年 3月末	郡上市公共施設等総合管理計画(公表)

資料2 用語解説

用語	説明		
	あ 行		
一般財源	財源のうち、その使途が特定されておらず、地方公共団体が自主的にその使途を決		
	められるものをいう。代表的な科目として、地方税、地方譲与税、地方交付税がある。		
	か 行		
	農業用水・工業用水・水道用水などの水を川からとるために、河川を横断して水位を		
堰•可動堰	制御する施設。「可動堰」は門扉等を開閉及び転倒させることによって水位、流量の調		
	節ができる堰のこと。		
	「簡易水道事業」とは、給水人口が 101 人以上 5,000 人以下である水道により、		
簡易水道等事業	水を供給する水道事業のこと。「簡易水道等事業」として、本市では簡易水道事業に		
	加え、飲料水供給施設(給水人口 100 人以下)などを設置している。		
	地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務付けられ任意に削減できない硬直性		
義務的経費	が極めて強い経費。職員給与等の人件費、生活保護等の扶助費及び地方債の元利		
	償還金等の公債費などがある。		
	昭和 56 (1981)年 5月 31 日までの建築物の設計において適用されていた、		
旧耐震基準	地震に耐えることのできる構造の基準。 震度 5 強程度の地震でほとんど損傷しない建		
	築物であることとして設定されていた。		
	市の行財政改革の基本方針。第二次行政改革大綱は、人口減少や財政規模の		
一 行政改革大綱	縮小など本格的な右肩下がりの時代への対応とともに、地方交付税の合併算定替終		
	了に伴う普通交付税の段階的縮減に対応するため、平成 25(2013)年度~平成		
	30(2018)年度を計画期間として策定された。		
公営企業·公営企	地方公共団体が経営する事業のうち、「地方財政法」により特別会計を設け、公共		
業会計	料金や利用料など独自の収入による運営が基本とされている事業。本市では、病院事		
	業、水道事業(簡易水道を除く)に公営企業会計を採用している。		
	主として市街地の下水を排除し、又は処理する下水道であって、市町村が整備・管		
公共下水道	理している下水道のこと。本市では、都市計画区域内の八幡中央処理区を対象として		
	いる。		
	地方公共団体の予算の中では義務的な経費である。道路、公共施設などの社会資		
公債費	本の整備等のために借り入れた地方債(借入金)を返済するための元金や利子など		
	で、返済は後年度の財政負担となる。		
固定資産台帳	統一的な基準による地方公会計の取組みの一つとして、整備が求められている台		
	帳。財務書類の作成に必要な台帳となるため、本市が保有する資産に対して、資産価		
	値に係る情報を含んでいることが必須となる。		

	さ行		
指定管理者制度	民間の能力を活用することにより、多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応		
	し、住民サービスの向上や経費の削減を図るために、公の施設の管理を市が指定する		
	法人、その他の団体が行う制度。		
小規模集合排水	市町村が汚水等を集合的に処理する施設であって、小規模なものの整備促進を図		
処理施設	るため、地方単独事業により設置する施設。		
	昭和 56 (1981)年 6月1日以降の建築物の設計において適用されている、		
が おき	地震に耐えることのできる構造の基準。 震度 5 強程度の地震でほとんど損傷しない建		
新耐震基準	築物であること、 震度 6 強から 7 程度 に達する地震で倒壊・崩壊しない建築物であ		
	ることとして設定されている。		
	発生主義によりストック情報やフロー情報を総体的・一覧的に把握し、現金主義会		
ᄄᄴᅮᄼᄼᆗ	計による地方公共団体の予算・決算制度を補完しようとする取組みのことで、総務省		
新地方公会計	が、公共施設等総合管理計画の策定と並んで、各地方公共団体へ作成を要請してい		
	る。		
	長期的な展望に立って地方自治体の将来像を描き、その実現に向けて総合的で計		
	画的なまちづくりのための指針を示すもの。本市では、基本構想、基本計画、実施計画		
総合計画	の 3 つの計画で構成されており、公共施設等総合管理計画の上位計画として位置付		
	けられる。第2次郡上市総合計画は、平成28(2016)年度~平成37(2025)		
	年度を計画期間としている。		
送水管	浄水場から配水池などへ水を送る管。 		
た行			
	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政		
	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政 サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め		
地方交付税	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政 サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め 一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」		
地方交付税	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政 サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め		
地方交付税	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。		
	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する		
地方交付税地方債	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。		
	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。 道路や公共施設のようにストックとして将来に残る(資本形成に向けられる)ものに		
	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。		
地方債	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。 道路や公共施設のようにストックとして将来に残る(資本形成に向けられる)ものに		
地方債 投資的経費	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。 道路や公共施設のようにストックとして将来に残る(資本形成に向けられる)ものに支出される経費のこと。生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、		
地方債	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。 道路や公共施設のようにストックとして将来に残る(資本形成に向けられる)ものに支出される経費のこと。生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費があげられる。		
地方債 投資的経費	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。 道路や公共施設のようにストックとして将来に残る(資本形成に向けられる)ものに支出される経費のこと。生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費があげられる。 河川・湖沼から用水路へ水を引き込むための施設。取水堰・取り入れ口・付帯施設		
地方債 投資的経費 頭首工 導水管	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。 道路や公共施設のようにストックとして将来に残る(資本形成に向けられる)ものに支出される経費のこと。生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費があげられる。 河川・湖沼から用水路へ水を引き込むための施設。取水堰・取り入れ口・付帯施設等からなる。		
地方債 投資的経費 頭首工	地方公共団体間の財源の不均衡を調整して、すべての団体が一定の水準(行政サービス)を維持できるよう財源を保障するためのもので、国税として国が代わって集め一定の合理的な基準により再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」(固有財源)という性格のもの。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借入れ)であって、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。 道路や公共施設のようにストックとして将来に残る(資本形成に向けられる)ものに支出される経費のこと。生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費があげられる。 河川・湖沼から用水路へ水を引き込むための施設。取水堰・取り入れ口・付帯施設等からなる。 取水施設から取水した原水を浄水場へ運ぶ管。		

都市計画区域	都市計画法とその関連法令の適用を受けるべき土地の区域。具体的には、自然的及び社会的条件並びに人口、土地利用、交通量等の現況及び推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域について都道府県が指定する。本市では、八幡地域の中心部(818ha)が八幡都市計画区域に指定されている。
都市計画マスタープ	都市計画法第 18 条の2に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」
ラン	であり、都市の長期的なまちづくりの方針を総合的・体系的に示すもの。
な行	
農業集落排水施設	農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設。農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、農村の生活環境の改善を図り、公共用水域の水質保全に寄与する。
は行	
配水管	配水池から各家庭へ給水するために街路に埋設し、水を送る管。
PPP	Public Private Partnership(パブリック・プライベート・パートナーシップ) の略。 公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間の ノウハウを利用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。
扶助費	性質別歳出の一分類で、社会保障制度の一環として地方公共団体が各種法令に 基づいて実施する給付や、地方公共団体が単独で行っている各種扶助に係る経費。
普通交付税	基準財政需要額(標準的な財政需要)が基準財政収入額(標準的な財政収入)を超える地方公共団体に対し、その差額(財源不足額)を基本として交付されるもの。

郡上市公共施設等総合管理計画 平成29年3月

発 行

郡上市

〒501-4297 岐阜県郡上市八幡町島谷228 番地 TEL 0575-67-1121 FAX 0575-67-1711 e-mail: kikaku@city.gujo.gifu.jp

編集

市長公室 企画課